

丸森町立館矢間小学校 「干し柿づくり」

○市町名 丸森町

○学校名 丸森町立館矢間小学校

○期 日 令和4年11月24日(木)

○内 容

総合的な学習の時間

「干し柿づくり～木になる実～」 16時間

- ・地域でたくさん実る柿を干し柿にする活動とおし、なぜ干し柿が地域の特産となったのか等を調べ、地域で学んだことを発信する。
- ・干し柿作りとおし、地域の人々の思いを知り、地域の良さを引き継いでいこうとする意欲を育てる。

○会 場 旧丸森町立耕野小学校

○講 師

八島 健 氏 (稲穂会・干し柿作り指導)
佐藤 静男 氏 (柿畑管理・柿収穫指導)

○指導補助

谷津 正敏 氏 (稲穂会・干し柿作り)
山崎ミツ子 氏 (稲穂会・干し柿作り)
藤田 しげ 氏 (稲穂会・干し柿作り)
斎藤 達也 氏
(柿収穫・干し柿作り準備・干し柿作り)
土田 晃 氏 (干し柿作り準備・干し柿作り)

○児童の声

・私は、干し柿作りを体験して楽しかったです。自分たちで収穫した柿をむいたり、紐に吊るしたりしました。ピーラーで皮をむくのは楽しかったです。みんなで力を合わせて頑張ったら、たくさんあった柿があっという間になりました。

皮をむいた柿を紐に吊るして、燻蒸して干したら完成を待つだけです。おいしい干し柿になったらうれしいです。



・今日は耕野に干し柿作りに行きました。先日収穫した柿を干し柿にする作業です。ぼくは、柿の皮をむく作業をしました。約400個の柿を、一人12個くらいむきました。みんなで皮をむいているうちにどんどん楽しくなり、先生がコンテナにへた回しをした柿を入れる前にみんなで手を出して待っているくらいでした。

また、干し柿作りをする機会があったら、挑戦してみたいです。なかなかできないことだと思うので、とても良い経験になりました。

・耕野小学校に行って干し柿作りをしました。私はずっと柿の皮をピーラーでむいていました。何回か手を切りそうになりました。最初はむくのが遅かったけど、やっているうちにどんどん慣れて、むくのが速くなってきました。みんなであの大量の柿をむいて、吊るすところまでできて良かったです。袋詰め作業も頑張りたいです。



・今日は干し柿作りでした。耕野小学校でやりました。稲穂会の皆さんや校長先生が手伝ってくれました。僕たちはピーラーで柿の皮をむきました。稲穂会の皆さんみたいにすごい速さでむくことはできなかったけど、皮を残さずにむけたし、変形している柿も上手にピーラーで形を整えながらむけました。何百個もあったのに、みんなで協力したら全部できました。去年も、耕野小学校との交流会で、この干し柿作りを体験していたこともあって、みんな干し柿作りがうまくなっていました。最後に、柿を燻蒸する様子も見せてもらいました。



・今日は、耕野小学校で干し柿を作りました。干し柿作りで頑張ったことが二つあります。

一つ目は、柿の皮むきです。皮むき自体は去年も経験していたので、今年で2回目でしたが、今年に変形柿が多くてむくのが大変でした。でも、2回、3回と皮をむくと皮がむけ、形が整えられてきます。だんだんコツをつかみました。

二つ目は、紐に柿を通す作業です。最初は大きい柿、小さい柿をごちゃごちゃに付けていたけど、稲穂会の皆さんから下に大きい柿を付けた方がいいとアドバイスをもらいながら頑張りました。

みんなで収穫し、作ったので、おいしい干し柿になるといいなと思いました。

○講師から

3校が再編して初めての干し柿作りでした。今年の原因が分からない変形した柿が多く、柿むき作業が大変だったと思います。それでも熱心に作業をしてくれた子供たちに感謝をいたします。私も、小学校の干し柿作りに携わって7～8年くらいになりますが、今後も地域の伝統を守り、地区の人達との交流が続いていけばと思います。約1か月以上干し、干し柿が完成します。おいしい干し柿ができるのを楽しみにしております。
(八島 健氏)



○教職員の声

大張小学校・耕野小学校・館矢間小学校の3校が再編し、令和4年度、新館矢間小学校として本校はスタートしました。館矢間小学校で実施していた活動に加え、大張地区の養蚕・シルク和紙での卒業証書作成、耕野地区の養蜂・干し柿作りを受け継ぎ、さらに総合的な学習の時間も充実したものとなりました。今回の干し柿作りの活動も、耕野地区の皆さんとの交流の中で、地域の伝統を守り、引き継いでいこうとする児童の育成を目指しているものです。児童は、耕野のブランド干し柿「ころ柿」作りをとおり、地区の人々とのつながりや物を作り上げていく大切さを学ぶことができました。

(佐藤 真規子 先生)

○教育事務所から

地域の伝統を大切に守り、引き継いでいこうという思いが伝わる活動でした。地域の方と児童の皆さんが作った「ころ柿」は、食べた人の心を動かすおいしい干し柿になることでしょう。